

昨日以来之電報供高覽作也

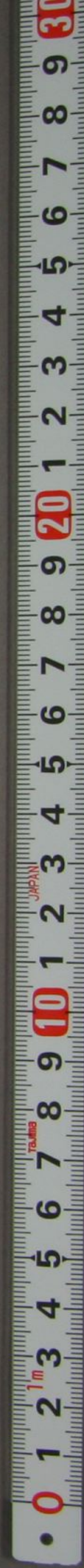
御參議
輔

四月六日

本局

野口 井上

114
A 263
272



四月五日午前十時五分發

岩倉右大臣殿 長崎 仁禮右伴

川村左軍上曉三村御役宇土一向寺港
出張入

大
文
官

大
正
官

四月五日午後一時五分達
西中野馬尾中野

左ノ通山口知令、昨四日大政官ヨリ西達
者、此ヨリ此方報知ス
其縣下元近衛隊ノ者、呂集波仰付、此
馬淵出張ノ度、馬結台系謀ハ申合セ達
取計、此方此方此方

[Blank lined area for writing]

四月五日午時一対五分迄
西ノ段 南ノ段

壯兵募集ノ由達有古壯兵ハタイテ
多ク地ニテお募主積リ有此如申入

四月五日午後一時五分着

西ノ段 南ノ段

左ノ通り太政官ヨリ昨四日由達有
此如報知ス

壯兵募集波 仰付るる 従前ノ成規ニ
依ル 徴集ニ付 但志士人ヲ 目途トシ
費額ノ多ハ 征討費ノ内ヨリ 仕拂フ
ハキ事

四月五日午前十時 早五分 長崎發
中軍田中軍少將 仁造 大佐

川村 中軍 上陸ニ付 征討軍士ニ 向ケテ 港
中 發ス 表ハ 帆ノ 係

前日 新 午 十一時 十五分 發
清輝 艦 高 旗 召 征 討 軍 士 海 向 ケ
上 陸 出 帆 ス

四月五日午後一時三十分西京殿

岩倉右大臣殿 三條右大臣

本日福岡縣少倉出張所より左ノ報知あり
中津暴徒ハ去ル二日午後一時三十分大分
本廳下ニ暴襲市街ノ入口ヲ放火ニ直ニ
本廳ハ砲撃ヲ行シ本廳ヨリモ砲撃ヲ受ケ
午後六時討テ之ヲ退リ暴徒等引揚ケ之
前徳後坊ハ放火ニ半ハ焼ル午後十二時以
別府村ニテ引揚ケ投病ノ所ニ日朝軍

大
友
宮

體及と勢を視て巡査着直に追撃賊マツ
逃去ルに於て二ヶ所東山村ノ内通行中
匪徒中ナリ尤巨魁一増田宗右衛門
二名別府ニテ豪家ノ金ヲ奪ヒ佐伯日出
ノ賊ヲ煽動スルヨシ右之日本右三村ニ散
リ別府村中濃大分安負ヨリ中津区長
報知書ノ儀ヲ以テ申スト只今大久保多儀
ヲ捜索中アリ

四月五日午後三時二十分西京發
右大臣殿 大政大臣

本日午前八時五十分山縣冬軍一本ノ案アリ
キノ按察中アリ
瓶前暴徒モ追撃去ル之日死傷二十名程
有リト雖モ瓶ノ散ルに及ビ中津藩
招撫ノ瓶再ニ報知有リト瓶ノ福吉ヨリ
ノ歩兵一中隊巡査有リ至急中津ニ向
大分縣下ニテ巡査ヲ以テ檢査中ニ候

別府に向ヶ取是等此由物令ヨリ申越以
是迄テ平定ニ立玉リテ申ト存ス此
通志ニ及フト只了大久保ヨリ扱也アリ

四月五日午後三時五十分西京若
岩笑右大臣殿 三條右邸工五

呂今長壽仁禮海軍大佐ヨリ在ノ
報云ヨリ
河村参軍ノ今晚三時紀後宇土ニ向
ヶ為港出帆ス

島尾中将より電報在り通
五日午後四時三十分達

今拂曉山鹿口進軍我軍大勝
利田島近傍皆陥こ入是より島尾
上突入之費略上只今報知あり為跡
知
報スレ静岡中佐木ノ多クあり報

鳥尾中將より電報左ノ通
五日午後五時五分迄

只今鳥栖モ敵入レタリト山鹿口
三浦少將ヨリ報知アリト木下
少将大佐ヨリ報知

甲日ハシテ居ル所ニテハ
先有ル大臣取

先有ル大臣取

之降参政大臣

本日抄有申候事ニテ知事アリ
此等御事大務利回高直傷多偏見
是中ノ事ノ業ニ先大ノ是情ト
知事抄有申候事ニテ知事アリ
此等御事大務利回高直傷多偏見
是中ノ事ノ業ニ先大ノ是情ト
知事抄有申候事ニテ知事アリ
此等御事大務利回高直傷多偏見
是中ノ事ノ業ニ先大ノ是情ト

四月五日午後二時半分久留米着

訃多祝言

安藤中務少輔

久留米出張

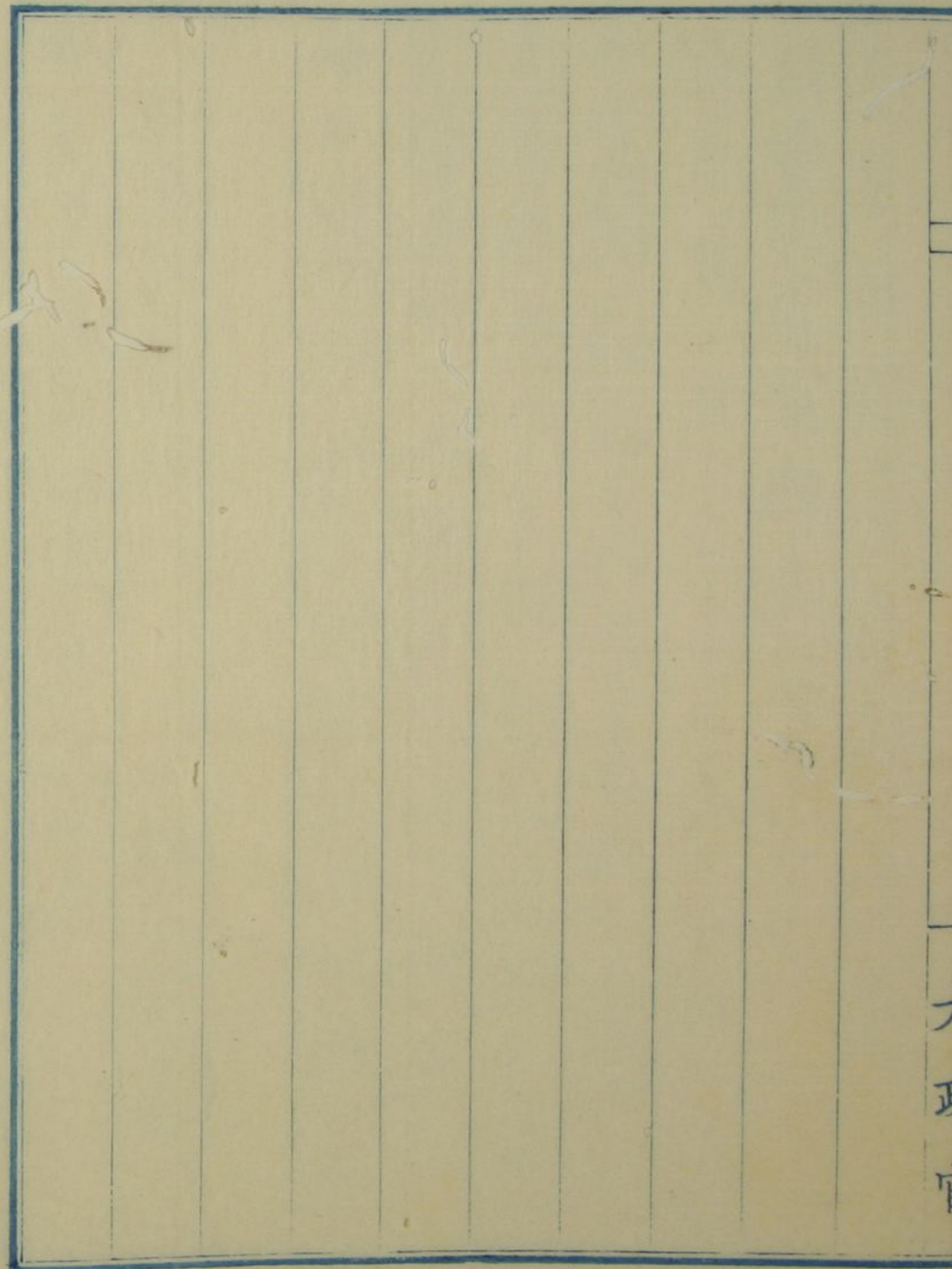
訃多祝言切部法福

因派也

ヨシクニタケツ子
ミノダシヨウケイゴ

去ル廿九日福急ニ着聖船石巻村ニ到ル賊
峠ニ因リ勢打合着到テ逃去ル又聖
日曲削イイバヨリ。シツセノ峠ヲ越ヘテ肥前
ニ追ケス賊者亦通テテ社内ニ入ル
途中十三名ノ其五兵ニ討テ即死ニ拾

文
宮



ニ名聞ク遊ケテ終月日刻ル目示ノ士
族者セズ城元ノ城ヲ訪リカ月日僅カ
ノ兵ニテ進撃シタルニ悉ク散乱ス巨魁内
ニテカ森カタム村上彦十生捕リタリ其
他百五六十自訴或ハ生捕アリ城
二三十名出ク地方警備察ノ手ニ入ルベシ
全ク決断ス